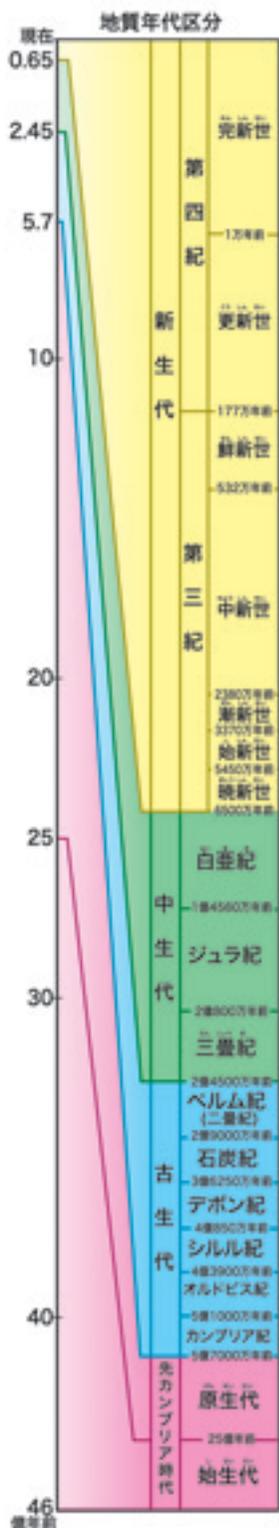


千葉地域の地質年表



千葉県東方沖地震(1987年)
関東大地震(1923年)・元禄地震年(1703年)①



沖積層
武蔵野・立川段丘堆積物(関東ローム層)

下総層群
貝化石② ナウマンゾウ化石③
山砂利⑦

古東京湾の形成

豊房層群
上総層群(鮮新世中期～更新世前期)
タービダイト⑤ 天然ガス⑥

千倉層群
サメの歯の化石④ 房州石⑧

三浦層群 放散虫化石⑨



日本海の拡大停止(ほぼ現在の位置へ移動)

保田層群

日本海の拡大開始
大陸から日本列島の分離



嶺岡層群(白堊紀～中新世前期)

中央構造線の形成

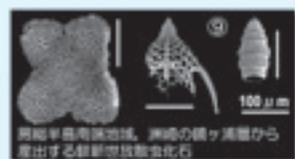
鏡子層群
アンモナイト
トリゴニア⑩



愛宕山層群
(三疊紀～ジュラ紀?)

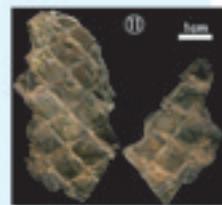
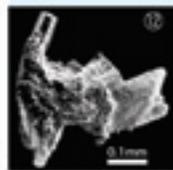
付加体

海洋プレートが、大陸の下に沈み込む時にできる、複雑な地層(海溝付近でできる)。放散虫化石で付加体研究が進歩。



日本最古の樹木化石 鱗木(りんぼく)⑪

日本最古の化石 コノドント⑫



日本最古の岩石(20億年前)
(ジュラ紀の上麻生礫岩に含まれる礫)

地球最古の化石(単細胞生物)(35億年前)

地球最古の岩石(39億年前)⑬
地球最古の鉱物(44億年前)

地球の歴史の始まり

